

対象	内容	意見等	事務局の対応
1 短期的目標1 数値目標1-3	状況確認	数値目標1-3「地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合」が低下しているが、事業の実績で「出前講座等を通じて…環境に配慮した活動を推進した」とあるが、どのような出前講座を何件行ったのか。	令和元年度は企業に対して、リサイクルや環境保全に係る出前講座を7件実施した。
2 短期的目標1 実施事業	状況確認	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくり事業の実施の中で、「市民の意見を取り入れた公園づくりを推進した」とあるが、どの事例を挙げているのか。	児島地区の「柳田中央ふれあい公園」、玉島地区の「東元浜公園」の2件とのこと。
3 短期的目標1 実施事業	状況確認	八間川緑道公園整備で八間川東側に緑地を整備したとあるが、場所はどこになるのか。緑地は、植え替えのない緑が該当するのではないかと。花は緑地としてよいのか。	平成25、26年度に水島支所東側の八間川東側に緑地を整備している。この場所に、年3回、5,000株の花苗を植え、管理している。市の考えでは、花についても「緑地」に含まれると判断するため、現状の表記とさせていただきます。
4 短期的目標1 実施事業	状況確認	外来種等の生態系に悪影響を与える生物への対応の中で、アライグマの表記があるが、倉敷市でアライグマの防除計画を策定するほど確認しているのか。	アライグマの確認はあるが、農業被害としては実績がないとのこと。鳥獣被害防止計画の対象は、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ヌートリア、アライグマ、タヌキ、アナグマ、ハクビシン、ノウサギと鳥類の一部となっている。
5 短期的目標1 実施事業	状況確認	生物多様性に配慮した農業の推進の中で、冬水田んぼ、休耕田の利活用による田んぼづくりを推進とあるが、相談する部署はどこになるのか。	本市では農林水産課が対応する。
6 短期的目標1 実施事業	状況確認	生物多様性に配慮した農業の推進の中で、農地を活用した環境学習を推進するとあるが、実際にはキャベツや玉ねぎを植えるアグリサポートを実施しているが、環境学習を推進することとつながりがあるか。	市が関与しているのは「田んぼの生き物調べ」であり、協力して環境学習を推進している。また、環境保全型農業直接支援対策等を通じ、環境配慮型農業を推進することにより、環境学習につながるかと考えている。
7 短期的目標1 実施事業	状況確認	外来種等の生態系に悪影響を与える生物への対応の中で、アライグマの表記があるが、ハクビシンは入れないのか。	特定外来生物のうちアライグマを例示で示している状況である。農林水産課が作成した「倉敷市鳥獣被害防止計画」では、ハクビシンやアライグマを含めた計画を作成している。
8 短期的目標1 外部データ	状況確認	岡山県版レッドデータブックの状況が記載されているが、2009年度版と比較し、2020年度版では、県全体の種数が増えているのに、倉敷市の種数が減少しているように取れる。どういう状況なのか。	「2009年度版レッドデータブックでは、生息地が非公開となっていた387種についても、倉敷市に生息している可能性があるとして計上(合計635種)していた。2020年度版では、生息地情報を整理し、非公開が33種になり、倉敷市内で確認されている種数としては、248種(2009年度版)から525種(2020年度版)に増加している。」 上記内容を、外部データの欄外に追記する。
		修正案の「増加している」は、間違いではないか。	「増加」の表現は、誤解を招く可能性があるため、修正する。 「2009年度版レッドデータブックでは、生息地が非公開となっていた387種についても、倉敷市に生息している可能性があるとして計上(合計635種)していた。2020年度版では、倉敷市立自然史博物館の協力により生息地情報を整理し、非公開が33種になり、倉敷市内で確認されている種数としては、248種(2009年度版)から525種(2020年度版)となった。」
9 短期的目標3 評価①	評価への意見	評価①の「海岸等については、半自然海岸や人工海岸の増加に努めている」の記載を削除することだが、実態が確認できているのであれば残してもいいのではないかと。	本市では現地確認ができておらず、最新データが平成10年であるため、削除することで対応する。
10 短期的目標6 数値目標	状況確認	短期的目標6の数値目標は、アンケート結果が多いが、年齢別の小計があれば、傾向が分かるのではないかと。	次期短期的目標の見直しで、検討したい。
11 全体	評価への意見	様々な団体が活動している。見落とししている事例があるのではないかと。そういったものを含め、評価する必要があるのではないかと。	2020年度短期的目標の評価では、最終版の内容で確定したい。次期短期的目標の見直しの中で、必要な項目を追加していく。
12 全体	評価への意見	倉敷市生物多様性地域戦略の担当者にデータが集まっていなと感じる。国や県と連携し、情報が収集できる体制づくりが必要ではないかと。	必要な体制を構築するため、国や県と連携し、情報交換を進めたい。